

## 展示記録

### 「愛知のやきもの一万年―躍動の縄文から華やぎの江戸まで―」 ―陶磁美術館南館 2 階展示室における常設展示―

小川裕紀

(愛知県陶磁美術館 主任学芸員)

#### 1 本稿の目的

平成 28(2016)年 2 月から、愛知県陶磁美術館は展示棟の一つ「南館」において常設展「もっと伝えたい、愛知のやきもの」を開催し、展示ゾーンの一つとして「愛知のやきもの 1 万年」を南館 2 階に設置している。陶磁美術館では古陶磁の常設展示は基本的に撮影自由であるが、常設展の解説図録がなく、出品目録も配布していないため、展示の記録となる公刊物がない。そこで、本稿では本展の概要をまとめ、展示記録とする。

#### 2 直接経緯

平成 27(2015)年度、陶磁美術館は「子ども文化芸術体験事業」を実施した。これは愛知県の長期基本計画「あいちビジョン 2020」(平成 26(2014)年策定)が掲げる重要政策課題の一つ「文化・スポーツ・魅力発信」を実現するための施策「次世代を担う子どもを対象として文化芸術を体験する機会を提供する」、「愛知の文化芸術の担い手と支え手双方の育成・拡大」の一環を担う事業の一つとして計画されたものである。事業の企画と実施にあたり、外部有識者 5 名：井上敏氏、今枝寛彦氏、可児光生氏、古池嘉和氏、藤井正剛氏を検討委員として招聘し、検討会を 4 回開催して意見聴取を行いつつ、携帯型学習キットの制作、館内外での教育普及活動を行うとともに、南館 1 階及び 2 階常設展示のリニューアルを行った。

南館では従来、1 階展示室で常設展「やきもの何だーランド」、2 階展示室で常設展「あいち子ども考古学研究室」を開催していた。両展は 12 月 27 日をもって終了し、翌年 2 月 27 日に「子ども文化芸術体験事業」の一環として開始したのが、常設展「もっと伝えたい、愛知のやきもの」である。

常設展「もっと伝えたい、愛知のやきもの」は、陶磁美術館が陶磁を専門とする、愛知県直営の博物館施設であることに鑑み、愛知県域の陶磁生産の歴史と今、将来について紹介することをねらいとして、南館 1 階展示室に「愛知のやきもの「今」、2 階展示室に「愛知のやきもの 1 万年」の展示ゾーンを設置している。前者は現代産業としての瀬戸焼、常滑焼、尾張七宝、名古屋洋食器、三州瓦、ファインセラミックス等を紹介する展示ゾーンである。後者は、縄文時代から江戸時代(一部、明治時代を含む)にかけての愛知県の古陶磁生産史を紹介する展示ゾーンである。両者はともに、小学校社会科における学習内容を勘案して特に 4-6 年生の学校団体利用を考慮しつつ、愛知県の陶磁について学習したい成人一般の観覧をも期待した構成内容である。結果的には、「あいちビジョン 2020」―重要政策課題「文化・ス

ポーツ・魅力発信」における「地域魅力の磨き上げ・観光客の誘致」の一環をも担い、「地域独自の魅力創造・発信」を実現することも目指すこととなった。

### 3 展示概要

展示ゾーン「愛知のやきもの1万年」は、通史展示とトピック展示の二部構成としている。実施にあたり、愛知県埋蔵文化財調査センターと公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センターの展示協力を得ている。

#### 通史展示

- 1 躍動する原始のやきものー縄文土器ー
- 2 米づくりの始まりとやきものー弥生土器ー
- 3 古墳とやきものー土師器・埴輪・須恵器ー
- 4 やきもの名産地の始まりー古代・中世陶器ー
- 5 日用品と趣味のやきものー近世・近代陶磁ー

#### トピック展示

- 6 愛知用水工事と文化遺産ー用水建設に関連して発掘調査された遺跡ー
- 7 古陶磁の鑑賞ー小学生の鑑賞学習活動ー
- 8 自由に見て感じようーアートとしての古陶磁ー

1ー3 は愛知県埋蔵文化財センターが出品選択を担当している。愛知県埋蔵文化財センターが県内各地の遺跡を発掘調査して出土し、愛知県埋蔵文化財調査センターが保管している遺物のうち、縄文土器、弥生土器、古墳時代土師器及び須恵器で、愛知県域の特色を示すものを展示紹介している。各時代あたり展示ケース1台(1面)を用いており、時代毎の特色を捉えやすい展示構成としている。

4と5はそれぞれ連続する壁面展示ケースを用いており、本展示室におけるメイン展示の位置を占める。4では古代：猿投窯、中世：瀬戸窯、常滑窯、渥美窯を扱い、愛知における陶業史の源流を示している。本展では陶磁美術館敷地内に所在する南山1、8、9号窯から出土した陶片資料も展示し、8、9号窯の窯体を現地で保存公開している「古窯館」を補完する遺跡博物館としての役割をも担っている。続く5では近世近代尾張：瀬戸、常滑、名古屋諸窯、犬山諸窯（今井焼、犬山焼）、内海焼、近代三河：甲山焼、木瀬焼、深喜亭焼、剛亭焼を扱い、愛知県域における陶磁器生産の豊かな諸相を地域毎に紹介している。展示4と5を一望あるいは連続的に見ることを通じて、愛知県における古陶磁生産の歴史と各産地・地域の特色を理解できることをねらいとしている。

6では「愛知用水関連資料」を、陶磁史の資料としてではなく、現行の愛知用水に関連した“流域”の文化遺産として紹介するものである。用水流域図とともに、北から尾北、瀬戸、猿投、知多(常滑)の順に4産地・4窯跡から出土した陶片資料を展示している。（「愛知用水関連資料」：昭和30年から37年にかけて、愛知用水建設に関連して、愛知県教育委員会が名古屋大学に委託して発掘調査を行った古窯跡の出土文化財。）

7では学校出前講座「やきものの鑑賞」の内容を紹介し、古文化財の歴史的理解とは異なる美術的鑑賞の在り方を、小学校における学習活動の実践例とともに提示。小学生が鑑賞した

12世紀代の常滑、渥美、瀬戸の古陶磁と、小学生が記入した鑑賞ワークシートのコピーを展示紹介している。（「学校出前講座」：愛知県陶磁美術館学芸員が県内小学校へ陶磁器や原料、制作工程見本等を持参して、学校教員と共同で実施している体験型授業。）

8では、古陶磁のもつ造形的要素に観覧者の意識を集中するために、展示資料は1点、かつ歴史的説明を排し、子どもなど鑑賞初心者が自由に見て感じることを企図した展示としている。

展示室では展示解説シートを自由配布している（A4判・縦向き、モノクロ両面印刷）。文字内容は基本的に、通史展示の展示パネルと同一である。

#### 4 過去の経緯

愛知県陶磁資料館は、平成6(1994)年の増築完成以降、常設展の一つとして「猿投・瀬戸：全国古窯陶磁資料展」を開催していた。本展は“実物による陶磁辞典”をコンセプトとして、本館2階第6展示室において、南室で猿投窯と瀬戸・美濃窯の編年展示、北室で東北から九州にかけての全国各地の窯業地紹介展示を行ったものである。愛知県の古陶磁としては、猿投、瀬戸、犬山を南室で、渥美、常滑を北室で紹介していた。このほか、近接する第3展示室では日本陶磁史を紹介する常設展示を開催し、その中で愛知県の古陶磁—古代：猿投、中世：渥美、常滑、瀬戸、近世：瀬戸、名古屋諸窯を紹介していた。これらの展示において、愛知県の古陶磁は数多く展示紹介されていたものの、これらの愛知古陶は分散的に陳列されており、観覧者が愛知県の古陶磁を一望のもとに見学できる状態ではなかった。

平成16(2004)年12月、常設展「猿投・瀬戸：全国古窯陶磁資料展」は従来の第6展示室全室での開催から、北室のみでの開催へと、展示面積を圧縮することとなった。壁面展示ケースでは西壁面で猿投窯、瀬戸窯の編年展示、東壁面で愛知県：渥美、甲山、名古屋諸窯、常滑、犬山の県内古陶磁展示と、愛知県埋蔵文化財センター速報展示を行うこととした。展示室フロアには覗き込みタイプの展示ケースを多数配して、美濃・湖西窯など東海地方と、東北から九州地方にかけての全国各地の窯業地を紹介することとした。この展示変更によって、愛知県の古陶磁がいちおう一望できる環境ができたとはいえる。

平成22(2010)年7月、上述の常設展「猿投・瀬戸：全国古窯陶磁資料展」のうち、県内古陶磁展示、愛知県埋蔵文化財センター速報展示は南館2階常設展示へ改編移転することとなった（跡地である第6展示室北室東壁面展示ケースでは、新たに「土と炎の芸術—世界の土器—」が開催されることとなった）。また、同時期に従来の南館2階常設展「焼き物王国あいち—古くて新しい工業—」は南館1階の新たな常設展「やきもの何だーランド」内の展示コーナー「愛知のやきもの」へと改編移転した。新たな南館2階常設展示として開催することとなったのが、常設展「あいち子ども考古学研究室」である。

常設展「あいち子ども考古学研究室」は、愛知県陶磁資料館と愛知県埋蔵文化財センターの共同企画として、愛知県の考古学的な通史展示を開催した。展示コーナーは以下の8つを設

けた。

- 1 掘りたての土器・洗いたての石器（埋蔵文化財速報展、1年毎に展示替え）
- 2 米づくりの始まり－弥生時代－
- 3 古墳の国－古墳時代－
- 4 愛知のやきもの－①奈良～室町時代－
- 5 清須と名古屋の城と城下町
- 6 愛知のやきもの－②江戸時代
- 7 特集陳列1（3ヶ月毎に展示替え）
- 8 特集陳列2（学校出前講座「鑑賞」紹介）

愛知県埋蔵文化財センターが出品構成を担当した1-3、5のコーナーにおいては図版パネル設置によって遺跡紹介にも重点が置かれ、考古学的な歴史展示を強く意識したものであった。一方、展示資料はほぼ全て土器、陶磁器であり、本展示によって一つの展示室で愛知県古陶磁を通史的に見学することが可能となったのであった。言い換えれば、本展示から集落、古墳、都市といった消費地遺跡紹介の要素を取り除いて、愛知県古陶磁生産史展示へと改編したものが、現行展示「愛知のやきもの1万年」である。「あいち子ども考古学研究室」から「愛知のやきもの1万年」へのリニューアルにあたり、展示ケースの配置は変更せず、前者のうち2-4、8の出品内容は後者：現展示へ概ね継承されている。

## 5 おわりに－今後の課題－

「愛知のやきもの1万年」は、陶磁資料館/陶磁美術館における数次にわたる常設展改編－愛知県域古陶磁の一括的な展示紹介の実現－を踏まえつつ、「あいちビジョン2020」の政策課題実現を達成する事業の一つとして、南館1階「愛知のやきもの「今」」を含む常設展「もっと伝えたい、愛知のやきもの」として実施されたものである。現在は「あいち文化芸術振興計画2022」（平成30(2018)年7月策定）に掲げる基本課題「愛知の文化資源を活かした地域力の向上」や同「伝統芸能や文化財等の継承と発展」の施策を担う事業の一つとしても位置付けることができる。これらは、日本陶磁の系統的な展示紹介を目指す陶磁資料館/陶磁美術館の基本方針（「建設基本計画」）や活動方針を直接的には反映するものではないが、県立の直営社会教育施設としては、県民に対して県域の産業文化について普及啓発することは当然に担うべき事柄である。

一方、本展実施の直接的な契機となった「あいちビジョン2020」の計画期間は2020年度で終了することから、令和2(2020)年11月に愛知県の長期基本計画「あいちビジョン2030」（2021年度から2030年度まで）が新たに策定された。「あいちビジョン2030」において、陶磁美術館に直接関連する政策課題としては「選ばれる魅力的な地域づくり」が掲げられ、施策の方向性として「ジブリパークを活用した圏域全体のプロモーションの展開」、「世界に向

け創造・発信する文化芸術の振興」、「愛知ならではの観光の推進」が設定されている。「ジブリパークや歴史・文化等を活かした観光振興」の一端を陶磁美術館が担い、愛知県への集客力を高めることが求められているのである。

一方、本稿執筆時点—令和2年度下半期には新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行及び拡大防止対策に伴い、県境をまたぐ観光交流等について自粛が求められる時期もあった。当面は観光・旅行者にとどまらず、県域を中心とした市民が居住や通勤・通学する地域の文化資源について認識と理解を深めて多様な視点を内面化し、より豊かな生活と社会を実現ができるよう支援することが、公立社会教育施設・機関の使命であろう。愛知県域古陶磁の一括的な常設展示は、こうした「社会の要請」の一翼を担うことができる。

[出品目録]

大区	中区分	小区分	資料名称	産地・作者	出土地	時代・年代	所蔵者	管理№
通史	縄文		20 漆鉢	縄文土器	瀬戸市・八王子遺跡出土	縄文時代早期末(紀元前4千年頃)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-207
通史	縄文	41	深鉢	縄文土器	幸田町・東光寺遺跡出土	縄文時代中期後葉(紀元前2千年代)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	p42第32図
通史	縄文	42	深鉢	縄文土器	瀬戸市・吉野遺跡出土	縄文時代中期末(紀元前2千年代)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E12
通史	縄文	43	深鉢	縄文土器	瀬戸市・長谷口遺跡出土	縄文時代中期末(紀元前2千年代)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E286
通史	縄文	50	深鉢	縄文土器	岩倉市・権現山遺跡出土	縄文時代後期前葉(紀元前2千年頃)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E93
通史	縄文	60	深鉢	縄文土器	名古屋市・牛牧遺跡出土	縄文時代晩期前葉(紀元前1世紀頃)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E50
通史	弥生	11	壺	弥生土器	あま市・大洲遺跡出土	弥生時代中期(紀元前1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	59A-E-43
通史	弥生	12	壺	弥生土器	あま市・大洲遺跡出土	弥生時代中期(紀元前1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	60A2-E-29
通史	弥生	13	壺	弥生土器	あま市・大洲遺跡出土	弥生時代中期(紀元前1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	60B1-E-33
通史	弥生	14	甕	弥生土器	あま市・大洲遺跡出土	弥生時代中期(紀元前1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	60B1-SF03
通史	弥生	15	甕	弥生土器	あま市・大洲遺跡出土	弥生時代中期(紀元前1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	60A1-E-13
通史	弥生	21	巴窓付土器	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代中期(紀元前1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-1140
通史	弥生	22	巴窓付土器	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代中期(紀元前1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-1141
通史	弥生	23	高杯	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代後期(1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-522
通史	弥生	24	高杯	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代後期(1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-534
通史	弥生	25	高杯	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代後期(1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-420
通史	弥生	26	壺	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代後期(1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-142
通史	弥生	27	高杯	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代後期(1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-097
通史	弥生	28	ワイングラス型高杯	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代後期(1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-095
通史	弥生	29	ワイングラス型高杯	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代後期(1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-128
通史	弥生	30	ワイングラス型高杯	弥生土器	清須市・朝日遺跡出土	弥生時代後期(1世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	VIII・E-129
通史	古墳	11	壺	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1014
通史	古墳	12	長頸壺	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1001
通史	古墳	13	甕	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1007
通史	古墳	14	甕	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1008
通史	古墳	15	甕	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1012
通史	古墳	16	鉢	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1010
通史	古墳	17	鉢	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1024
通史	古墳	18	高杯	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1015
通史	古墳	19	高杯	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1016
通史	古墳	20	高杯	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1017
通史	古墳	21	高杯	土師器	岩倉市・岩倉城遺跡出土	古墳時代初期(3世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-1018
通史	古墳	31	高杯	土師器	名古屋市・志賀公園遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-463
通史	古墳	32	高杯	土師器	名古屋市・志賀公園遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-508
通史	古墳	33	高杯	土師器	名古屋市・志賀公園遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-509
通史	古墳	34	碗	土師器	名古屋市・志賀公園遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-524
通史	古墳	35	杯	須恵器	名古屋市・志賀公園遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-531
通史	古墳	36	杯	須恵器	名古屋市・志賀公園遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-532
通史	古墳	37	蓋	須恵器	名古屋市・志賀公園遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-538
通史	古墳	38	蓋	須恵器	名古屋市・志賀公園遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-539
通史	古墳	39	高杯	須恵器	名古屋市・志賀公園遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-545
通史	古墳	51	朝顔型円筒埴輪	埴輪	愛西市・川田遺跡出土	古墳時代中期(5世紀)	愛知県埋蔵文化財調査センター所蔵	E-336
通史	古代・中世	古代	1 灰軸短頸壺	猿投窯	平安時代前期(9世紀)	平安時代前期(9世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1684
通史	古代・中世	古代	2 灰軸長頸瓶	猿投窯	東郷町・黒住(号)窯跡出土	平安時代前期(9世紀末)	愛知県陶磁美術館所蔵(本多静雄氏寄贈)	A-2289
通史	古代・中世	古代	3 灰軸平瓶	猿投窯	東郷町・誌輪地区窯跡出土	平安時代前期(9世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(本多静雄氏寄贈)	A-2296
通史	古代・中世	館内古窯	1 灰軸碗	猿投窯・瀬戸地区	瀬戸市・瀬戸-D号窯跡出土(直前・古窯館所蔵)	平安時代後期(11世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(当館調査)	
通史	古代・中世	館内古窯	2 山茶碗・小碗	瀬戸窯	瀬戸市・瀬戸B号窯跡出土(直前・古窯館所蔵)	平安時代後期(12世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(当館調査)	
通史	古代・中世	館内古窯	3 山茶碗・小皿・小碗	瀬戸窯	瀬戸市・瀬戸B号窯跡出土(直前・古窯館所蔵)	鎌倉時代(13世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(当館調査)	A-692-741

通史	古代・中世	中世	11	灰釉木ノ葉文瓶子	瀬戸窯				南北朝時代(14世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1809
通史	古代・中世	中世	12	灰釉袴文四耳壺	瀬戸窯				鎌倉時代(13世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1541
通史	古代・中世	中世	13	灰釉印花文手付水注	瀬戸窯				鎌倉時代(14世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1513
通史	古代・中世	中世	14	鉄釉水注	瀬戸窯				鎌倉時代(14世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1806
通史	古代・中世	中世	15	天目茶碗	瀬戸窯				南北朝時代(14世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(日本電話施設(株)寄贈)	A-2712
通史	古代・中世	中世	16	灰釉平碗	瀬戸窯				南北朝時代(14世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1821
通史	古代・中世	中世	21	甕	常滑窯				平安時代末期(12世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(日本電話施設(株)寄贈)	A-2697
通史	古代・中世	中世	22	甕	常滑窯				平安時代末期(12世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(杉江伍一氏寄贈)	A-231
通史	古代・中世	中世	23	三筋壺	常滑窯				平安時代末期(12世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1131
通史	古代・中世	中世	24	大平鉢	常滑窯				鎌倉時代(13世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-398
通史	古代・中世	中世	25	大平鉢	常滑窯				鎌倉時代(13世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1610
通史	古代・中世	中世	31	灰釉蓮弁文壺	瀬美窯		田原市	加治平沢窯跡出土	平安時代末期(12世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(鈴木幸明氏寄贈)	A-1203
通史	古代・中世	中世	32	灰釉袈裟文壺	瀬美窯		田原市	大アラコ窯跡出土	平安時代末期(12世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(鈴木幸明氏寄贈)	A-1721
通史	古代・中世	中世	33	陶片	瀬美窯		田原市	大アラコ窯跡出土	平安時代末期(12世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(赤塚幹也氏寄贈)	A-1236
通史	近世	瀬戸	11	鉄絵馬の目皿	瀬戸焼(陶器)				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1255
通史	近世	瀬戸	12	呉須種鉄絵草花文蓋付碗	瀬戸焼(陶器)				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1405
通史	近世	瀬戸	13	染付広東碗	瀬戸焼(陶器)				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(赤塚幹也氏寄贈)	A-1256
通史	近世	瀬戸	21	染付花文蓋付碗	瀬戸焼(磁器)				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-3467
通史	近世	瀬戸	22	染付広東碗	瀬戸焼(磁器)				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1260
通史	近世	瀬戸	23	染付山水図花入	瀬戸焼(磁器)				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(中島武則コレクション)	A-3462
通史	近世	常滑	1	壺	常滑焼(真漆物)				江戸時代前期(17世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(山原秀氏寄贈)	A-1582
通史	近世	常滑	2	蓋付壺	常滑焼(赤泥物)		安城市	近世墓出土	江戸時代中期(18世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(鈴木克明氏寄贈)	A-1607
通史	近世	常滑	3	朱泥宝瓶	常滑焼(赤泥物)				明治時代一 大正時代(20世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-4033
通史	近世	常滑	11	花形透し碗 絵盃台	名古屋・笹島焼				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1019
通史	近世	名古屋	12	菖蒲文四方鉢	名古屋・笹島焼				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(川崎晋三氏寄贈)	A-130
通史	近世	名古屋	21	宝船香合	名古屋・正木焼				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(鈴木克明氏寄贈)	A-4003
通史	近世	名古屋	31	銅版染付火入	名古屋・川名焼				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(川崎晋三氏寄贈)	A-126
通史	近世	名古屋	32	銅版染付筒形小碗	名古屋・川名焼				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(香積院寄贈)	A-2062
通史	近世	尾張	11	赤絵雲龍文大皿	大山焼				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(浅井藤雄氏寄贈)	A-2576
通史	近世	尾張	12	赤絵玉取獅子文皿	大山焼				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(浅井藤雄氏寄贈)	A-2577
通史	近世	尾張	21	色絵雲錦手大皿	大山焼				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1092
通史	近世	尾張	22	色絵雲錦手長方皿	大山焼				江戸時代後期(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-2555
通史	近世	三河	11	色絵花蝶文鉢	岡崎・甲山焼				明治10年(1877)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-2221
通史	近世	三河	12	海老図茶碗	岡崎・甲山焼				明治時代(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1511
通史	近世	三河	13	金欄手鉢	岡崎・甲山焼				明治時代(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1512
通史	近世	三河	20	磁片	豊田(豊田地区)・本郷焼			窯跡出土	明治時代(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	
通史	近世	三河	30	磁片	西尾・深喜亭焼			窯跡出土	1867年-1871年	愛知県陶磁美術館所蔵	
通史	近世	三河	40	陶片	碧南・剛珍焼				明治時代(19世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	
ベックス	愛知用水		10	高瀬寺2号窯跡出土資料	尾北窯			春日井市本郷町・1958年度発掘調査	奈良時代(8世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(愛知用水関連資料)	
ベックス	愛知用水		20	孫右衛門窯跡出土資料	瀬戸窯			瀬戸市送間町・1961年度発掘調査	室町時代(14世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(愛知用水関連資料)	
ベックス	愛知用水		30	黒紐89号窯跡出土資料	猿投窯			みよし市御谷町・1966・67年度発掘調査	平安時代前期(9世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(愛知用水関連資料)	
ベックス	愛知用水		40	窯山12-3号窯跡出土資料	知多窯(常滑窯)			常滑市大字多摩・1959年度発掘調査	平安時代前期(9世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(愛知用水関連資料)	
ベックス	鑑賞学習		1	甕	常滑窯				平安時代末期(12世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-1078
ベックス	鑑賞学習		2	甕	瀬美窯				平安時代末期(12世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵(辻清明コレクション)	A-4725
ベックス	鑑賞学習		3	灰釉瓶子	瀬戸窯				鎌倉時代初期(12世紀末)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-691
イヌーン	古陶磁への招待			灰釉長頸瓶	猿投窯				平安時代前期(9世紀)	愛知県陶磁美術館所蔵	A-4416

[展示概況]



(左) 1 縄文、(左奥) 4 古代・中世、(右奥) 5 近世・近代。1 の裏側が 2 弥生、右端は 7 の左端部



(左側) 2 弥生、(中央奥) 3 古墳、(右側) 4 古代・中世





(手前) 4 古代・中世、(奥) 5 近世・近代



(左手前) 4 古代・中世、(左奥) 5 近世・近代、(中央) 6 愛知用水、(右奥) 8。6の裏側(右側)に 7



(左奥) 5 近世・近代、(中央左) 7 古陶磁の鑑賞、(中央右) 8 自由に見て感じよう



1 躍動する原始のやきものー縄文土器ー



2 米づくりの始まりとやきものー弥生土器ー



3 古墳とやきものー土師器・埴輪・須恵器ー



4 やきもの名産地の始まりー古代・中世陶器ー



5 日用品と趣味のやきものー近世・近代陶磁ー



6 愛知用水工事と文化遺産ー用水建設に関連して発掘調査された遺跡ー



7 古陶磁の鑑賞ー小学生の鑑賞学習活動ー



8 自由に見て感じようーアートとしての古陶磁ー